



赤ちゃんの生理

母親学級パンフレットP.57～P.58

1. 正常な新生児



- 体重：2500 g 以上、4000 g 未満
(2500 g 未満は低出生体重児、4000 g 以上は巨大児)
- 週数：37週以上、42週未満
- うぶ声：赤ちゃんのうぶ声は、呼吸が始まったサインです。分娩後すぐ、ずっと泣いていないと不安に思うお母さんもいると思いますが、呼吸が落ちついていれば、泣き止む赤ちゃんもいます

2. 生理的体重減少について

- 生後2～5日頃、出生時の3～10%くらい体重が減少します
- これは生後数日間には母乳やミルクを飲む量に対して、体の表面からの水分の蒸発や便やおしっこが出る量の方が多いからです



赤ちゃんは生理的に体重が減り、体の余分な水分を出すことで、呼吸しやすくなります。初めの2～3日目ころまで母乳が出なくても普通です。たくさん吸わせることで、3日目ころから母乳が出るようになります。

3. 新生児黄疸について

- 生後2日ごろから皮膚が黄色っぽくなります。これは、肝臓の機能が未熟なために起こる生理的な黄疸です。4~5日でピークとなり、7~10日ごろから消え始めます。入院中に検査をして黄疸の値が高い場合は、光線療法という治療を行ないます
- お母さんがO型で赤ちゃんがAかB型の場合や、お母さんがRH(-)で赤ちゃんがRH(+)の場合に黄疸が強く出ることがあります
- 黄疸のもととなるビリルビンという成分は、尿や便と一緒に体外に排泄されます

4. 赤ちゃんの便の色

①胎便

(生後すぐ～生後2・3日)
黒緑色で粘りのあるうんち



②移行便 (生後2～4日頃)

胎便と普通便が混ざって
黄色みがあります



③普通便（生後4日後くらい～）

黄色から黄緑色のうんちです。生後1カ月くらいまでの新生児のうんちは水のようにゆるく、1回の量はごくわずか。淡い黄色でヨーグルトのような甘酸っぱいにおいです。



赤ちゃんは、消化機能が未発達なので、生後3ヶ月頃まではツブツブまじりのうんちが出やすいようです。うんち自体が健康的な色であれば、病気ではないので安心してください。





赤ちゃんの体の特徴
については、
母親学級パンフレットの
P.67を見てね～
(^_^)-☆



母児同室について

当院の方針

当院は、出生直後から赤ちゃんとお母さんが一緒に過ごせる様、可能な限り**母児同室**を実施します。



母児同室はなぜ良いの??

- 早く育児に慣れることが出来ます
- 赤ちゃんの様子が良く分かります
- 赤ちゃんが欲しがる時にいつでも授乳が出来ます

お産後数日、おっぱいは殆ど出ないものです。赤ちゃんに頻回に吸ってもらう事で母乳を作るホルモンが分泌され、徐々に母乳が分泌されてくるという仕組みになっています。赤ちゃんが欲しがったらいつでもおっぱいをあげましょう。

- 母乳の分泌を促します
- おっぱいを吸われることで子宮の収縮を促し、産後の身体の回復を早めます